

## 信金中央金庫グループSDGs宣言

信金中央金庫グループ（以下「信金中金グループ」と略称します。）は、信用金庫の中央金融機関を核とするグループとして、SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえ、協同組織の理念に則り、「地域」、「人々」および「環境」の3つを重要なテーマとし、全国の信用金庫とともに、持続可能な社会の実現に向けた活動に取り組んでまいります。



### 1. 地域の持続的繁栄

人口減少や少子高齢化の進展、中小企業の減少、それらに伴う地域の持続可能性の低下が我が国における重要な課題となっています。信用金庫は、中小企業および地域住民のニーズや課題に応じ、融資等の金融サービスまたは各種の課題解決手段等の提供を行うことで、中小企業の成長や地域の活性化に貢献してきており、その役割は、地域の持続可能性を高めるうえで、これまで以上に重要になっています。

信金中金グループは、地域を支える信用金庫とその事業基盤である中小企業の持続可能性を高めるとともに、地域活性化支援への取組みを推進することで、地域社会の持続的な繁栄に貢献します。

## 2. あらゆる人々の幸福

今後、我が国では、本格的な長寿社会の到来が予想されており、信用金庫においては、「人生100年時代」を見据えた個人の資産形成のサポートやシニア世代に対する金融とデジタルのリテラシー強化等の金融包摂にかかる取組みがより一層重要になるものと考えます。

また、信用金庫は、地域社会発展のための重要な担い手として、地域の子どもたちを支援することが期待されています。

信金中金グループは、信用金庫とともに地域のシニア世代、子どもたち、そしてあらゆる人々の幸福のための活動に取り組み、「誰一人取り残さない」多様性と包摂性のある社会の実現に貢献します。特に、我が国の将来を担う子どもたちを金融分野にとどまらず、幅広く支援します。

## 3. 地球環境の保全

気候変動や生物多様性の危機等の環境問題は人類共通の最重要課題であり、信金中金グループは社会の一員として、自らの業務等を通じ、その解決に向けて積極的に取り組んでいく必要があると考えています。

信金中金グループは、事業活動における環境への負荷を低減することに努め、また、グローバルに投融資を行っている金融グループとして、環境問題に配慮した投融資を推進することで、地球環境の保全に貢献します。

注) 本宣言の対象となるグループ会社：信金中央金庫、しんきん証券(株)、信金インターナショナル(株)、しんきんアセットマネジメント投信(株)、信金ギャランティ(株)、信金キャピタル(株)、(株)しんきん情報システムセンター、信金中金ビジネス(株)

(2019年9月27日策定)

持続可能な社会の実現に向けた取組み

テーマ	主な取組事例 ※1	関連するSDGs
地域の持続的 繁栄	<p>◇信用金庫の持続可能性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信用金庫の収益力の強化</li> <li>信用金庫の業務効率化の促進</li> <li>業界のセーフティネットの運営</li> </ul> <p>◇中小企業の持続可能性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業承継・M&amp;A支援の強化</li> <li>ファンドを通じた資本性資金の供給</li> <li>デジタルリテラシー向上の支援</li> </ul> <p>◇信用金庫と連携した地域活性化への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域創生支援スキームの提供</li> <li>キャッシュレスを通じた地域活性化スキームの提供</li> <li>災害からの復興にかかる取組み</li> </ul>	
あらゆる 人々の 幸福	<p>◇子どもたちの夢の実現に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金融経済教育への取組み</li> <li>AI時代に対応したプログラミング・スキル等の強化</li> </ul> <p>◇あらゆる世代のライフプランニング支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人生100年時代に対応した資産形成コンサルティング</li> <li>資産形成に適した預かり資産商品の提供</li> <li>シニア世代のデジタルリテラシーの向上</li> </ul> <p>◇その人らしさを大切にする職場づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きやすい職場環境の整備</li> <li>ダイバーシティの推進</li> </ul>	
地球 環境の 保全	<p>◇ESG※2投融資の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業等のESGへの取組みを考慮した投融資の推進</li> </ul> <p>◇気候変動への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動リスク低減への取組みの強化</li> <li>TCFD※3提言への対応</li> </ul> <p>◇事業活動に伴う環境負荷の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーレスの推進</li> <li>使用電力量の削減</li> </ul>	

※1：現在検討中のものを含む。

※2：環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Governance)の英語の頭文字をとったもの

※3：気候関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)